

# 道徳だより NO.5

台東区立金曾木小学校  
校長 細田 儀広  
令和5年12月19日

本校では、令和3年度より「特別の教科 道徳」の指導について研究を行い、3年目となります。今年度も児童の道徳心を養うため、充実した道徳科の授業を目指しています。今年度より、研究授業の内容や併せて行った各学年の授業の概要について「道徳だより」を発行します。ご家庭でも、子供たちとの話題の一つにさせていただきたいと思えます。

## 【内容】 B 相互理解、寛容

広がりや深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに、謙虚で広い心をもつことに関する内容です。

※1、2年生は、「B 相互理解、寛容」に関する内容の学習は設定されていないため、人との関わりに関するBの内容から選んで授業を行いました。

### 1年

主題名 ともだちだから

教材名 ともだちを たすけた ゾウたち

友達のゾウを支えるゾウたちの行動を通して、友達と仲良く助け合うことについて考えました。病気になった友達に寄り添い、何日もそばで支えたことにより元気になったゾウの気持ちを想像し、「助けてくれてありがとう。」「ずっと友達だよ。」という思いをもちました。

### 2年

主題名 心をつなぐあいさつ

教材名 ごあいさつ ごあいさつ

「5つの㊦」や「あいさつマスター」の呼びかけに、校門での朝のあいさつ当番を通して、少しずつ自分から挨拶をすることが身に付いてきた子どもたちです。今回は、挨拶に込める気持ちに焦点を当てました。主人公が、さまざまな登場人物と挨拶を交わす中で互いにすがすがしい気持ちになっていく様子から、「この挨拶には、『また次も遊ぼう。』『楽しかったよ。ありがとう。』という気持ちが込められている。」などと発表されました。「元気な気持ちで言う。」や「明るい気持ちがいい。」と自分が込める気持ちを考えていました。

### 3年

主題名 相手の気持ちも大切に

教材名 なかよしタイム

自分の考えや意見を相手に伝えることの大切さ、相手のことを理解して自分と異なる意見も大切にすることの大切さについて考えました。互いの考えを認め合うことの大切さについて、理解している児童が多く見られました。しかし、実際には自分の意見を押し通してしまったり、相手の意見を蔑ろにしてしまったりした経験を思い起こすことができました。相手の意見を受け入れることが、自分の意見を受け入れてもらうことにつながることに気付き、今後の生活に生かしていきたいという気持ちをもつことができました。

## 4年

主題名 認め合う心

教材名 話し合いのできごと

ひろしとなつきの話し合いの様子から、相手の考えを聞き、相手の気持ちを考えることの大切さについて考えました。「自分では考えられないことを言ってくれる」「自分とは違う意見でも最後まで聞く」「相手のことを認めて話し合いをすることが大切」と考えることができました。相手の話を聞くことよさや、相手を認めて関わり合うことの大切さを改めて考える機会になりました。

## 5年

主題名 相手の立場に立って

教材名 すれちがい

待ち合わせの約束をしたよし子とえり子でしたが、それぞれの事情から約束を果たせなくなっていました。相手の事情を理解しようとしなない二人は、互いを許すことができず友情関係にひびがはいてしまいます。すれちがってしまった二人の気持ちや二人へのアドバイスを考えることを通して、相手の立場について考えることの大切さに気付き、「相手の事情や理由を冷静に最後まで聞く」「お互いが納得するまで話し合う」「自分の悪かったところを振り返る」「相手の言い分を受け止める」「もしかして相手に事情があるかも…と考える」等と考えることができました。

<12月13日に行われた研究授業>

## 6年

主題名 人を許す心

教材名 銀のしょく台

原作『レ・ミゼラブル』の一場面を扱った教材を使って、「許すこと」について考えました。事前に行ったアンケートでは、「人を許したことがない」「許された時に何も思わなかった」と回答していた子どもたちが、授業後には「許すことでお互いに良い気持ちになる」「相手の為に許さない方が良いこともある」「許してもらった後の行動が大切」と、自分の経験を想起しながら考え、発表する姿が印象的でした。「寛容」という内容ですが、大人の私たちも日頃出会う様々な事象に対して、謙虚に受け入れることの難しさを感じる日々です。今回学習したことを日頃の生活の中で問いかけ、「人を許す心」の価値を深めていきたいと思いました。みなさんは日頃、様々な人の言動を受け入れ、謙虚に受け入れて「許す」ことができますか？

